

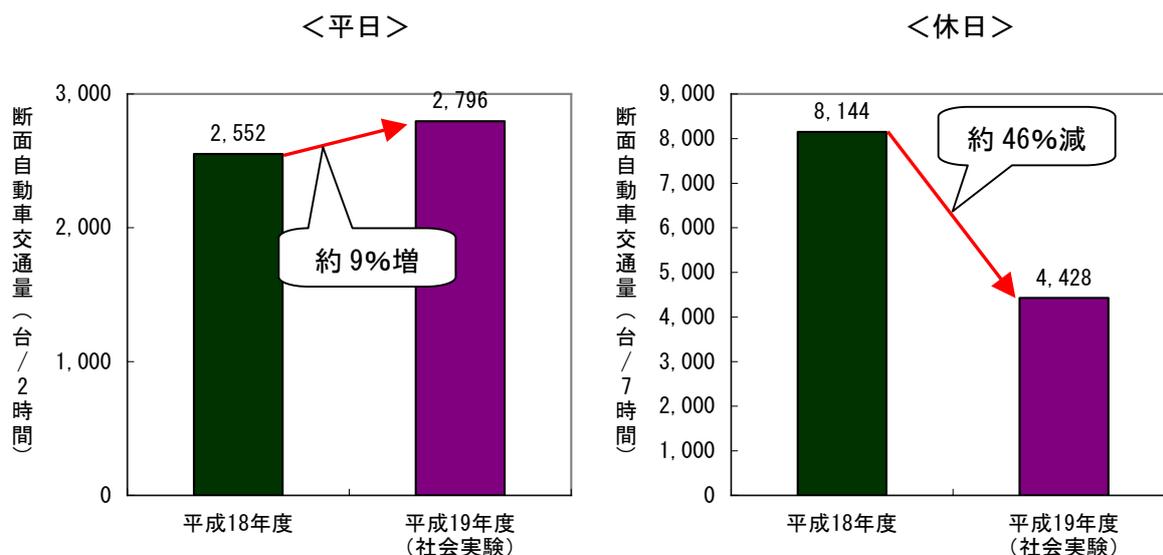
## ①通過交通の抑制

- 「通過交通の抑制」により，自動車交通が減った細街路を，いつもより多くの歩行者に歩いていただけた
- こうした「細街路における歩きやすさ」は，特に住民が高く評価
- しかし，今回は社会実験による臨時交通規制として実施したため，地元住民・事業所の自動車利用への影響が大きかった

### 1. 歴史的細街路における自動車交通量の変化

- 社会実験実施時の南北方向細街路における自動車交通量を，平成18年度と比較すると，休日では約5割の減少と半減している。

図 社会実験時の御池通から細街路への流入交通量

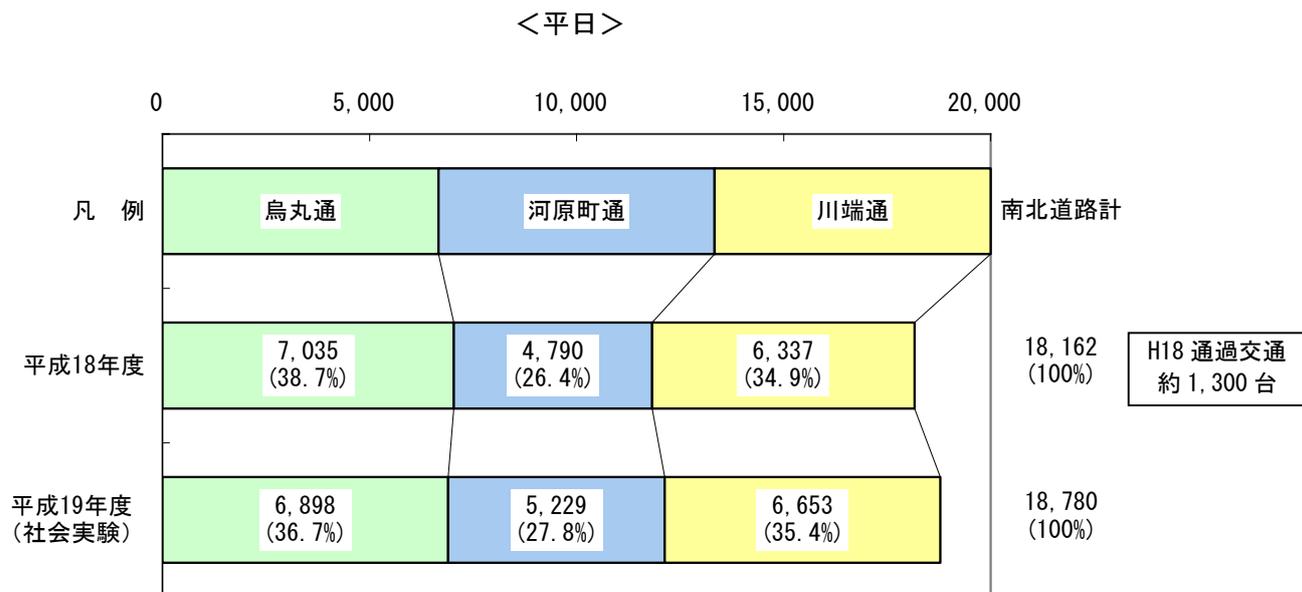


注) 平日 (17時台～18時台)，休日 (12時台～18時台) における御池通南側断面での御幸町通～東洞院通間の集計値

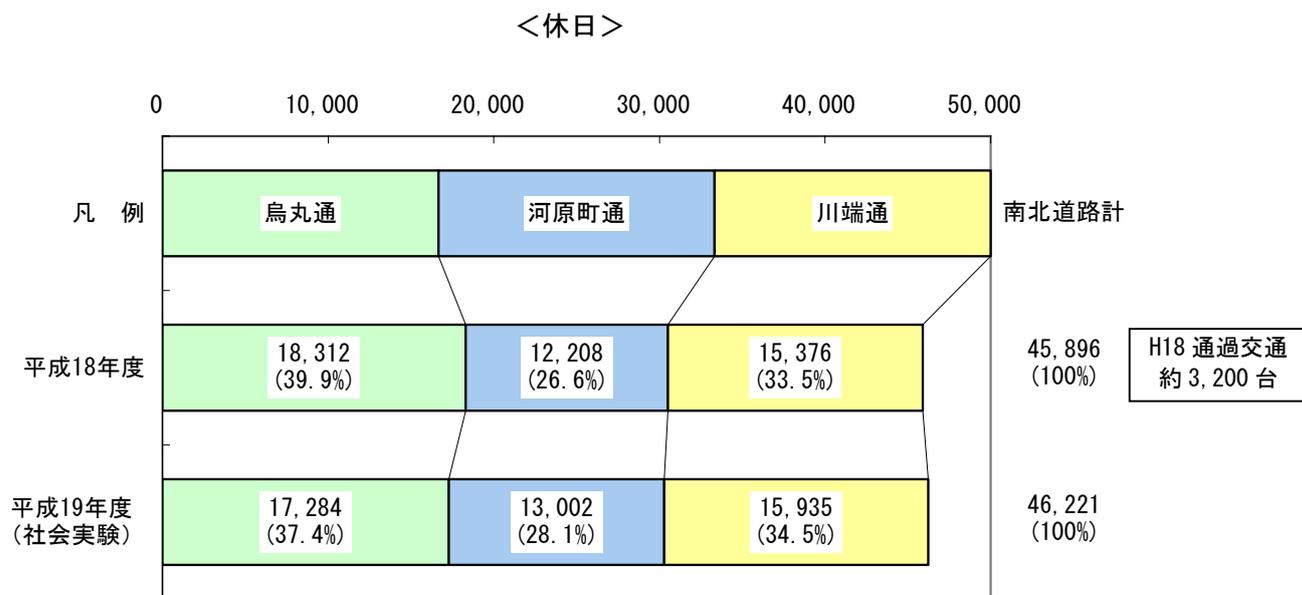
## 2. 南北方向道路における自動車交通量の変化

- 周辺南北方向の大通りにおける実験実施時間帯の交通量の変化を見ると、平日・休日とも河原町通と川端通で交通量が増加していたことが分かる。
- 一方、これら3路線合計の交通量を見ると、歴史的細街路での車両通行禁止を実施したにも関わらず、平成18年度の同時時間帯とほぼ同程度となっている。

図 四条通及び南北方向道路における実験実施時間帯の自動車交通量及び路線分担率の変化



注) 17時台～19時台における各道路と四条通との北側交差断面での集計値

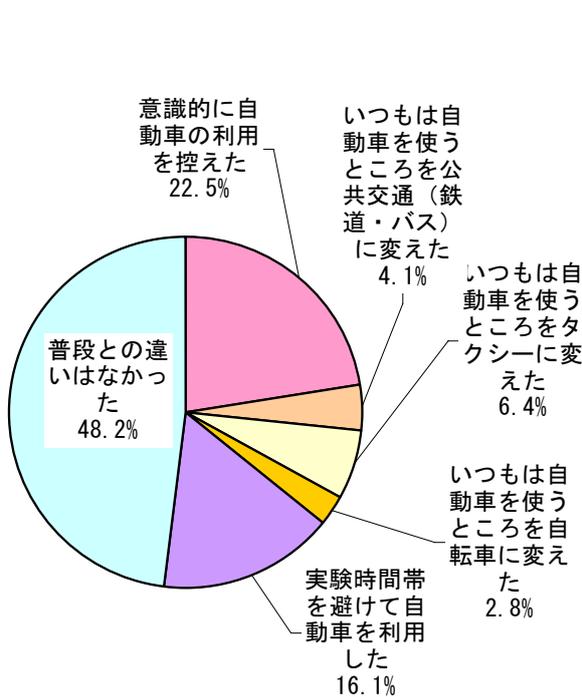


注) 12時台～19時台における各道路と四条通との北側交差断面での集計値

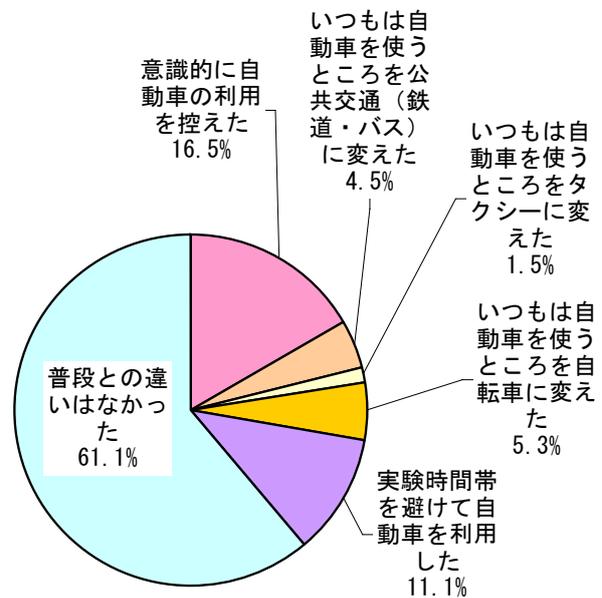
- 約4～5割の住民が、社会実験実施時には他の交通手段への転換や時間帯をずらす等して、自動車利用を控えたと回答している。
- また、事業所の荷物の搬出入への影響については、全体の約3割が「問題が大きくて困った」と回答している。
- 今回の社会実験では、通過交通の抑制を図る手法として臨時の交通規制を採ったため、地元住民・事業所の自動車利用への影響が大きかったと考えられる。

図 社会実験実施期間中の自動車利用の変化

<規制対象内の住民 (N=218) >



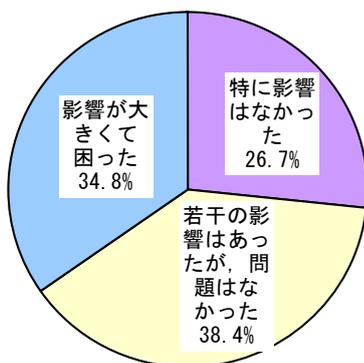
<規制対象外の住民 (N=961) >



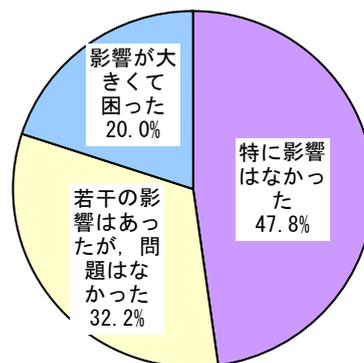
資料：住民アンケート調査 ※無回答を除く

図 臨時交通規制に伴う荷物の搬出入への影響

<規制対象内の事業所 (N=333) >



<規制対象外の事業所 (N=825) >



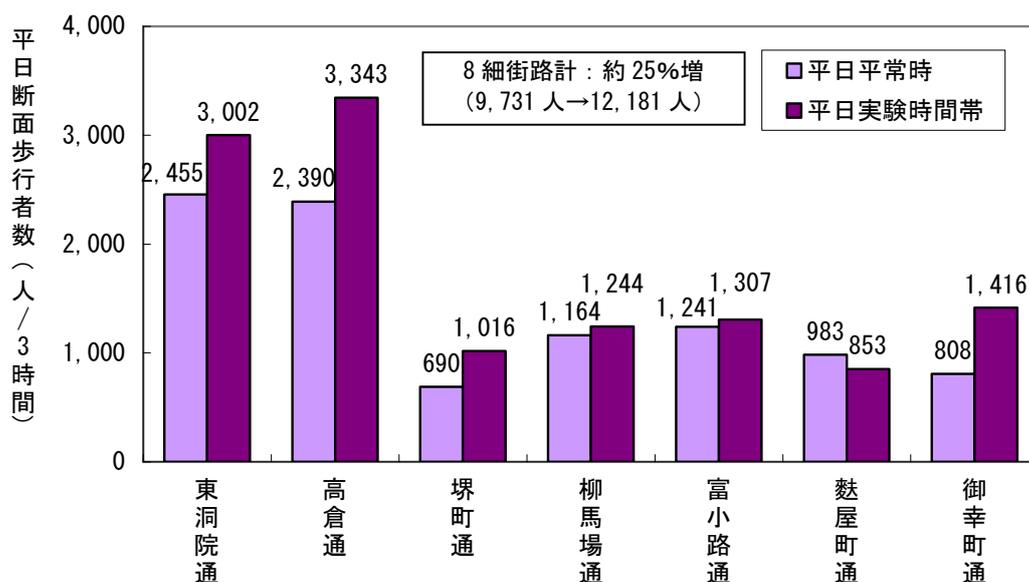
資料：事業所アンケート調査 ※無回答を除く

### 3. 細街路における歩行者数の変化

- 社会実験実施時の細街路における歩行者数を見ると、平日・休日とも高倉通・東洞院通で多く、次いで御幸町通で多くなっている。
- 平常時の歩行者数と比較すると、特に休日の東洞院通・御幸町通では5割以上の増加と、いつもより多くの方が、ゆったりと細街路を歩いていただけたことが伺える。

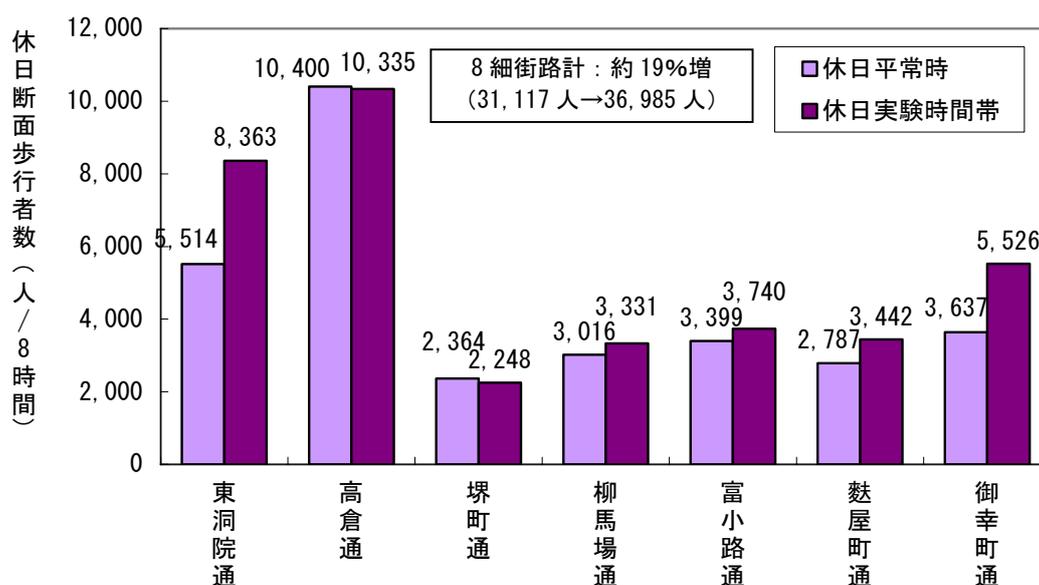
図 細街路における社会実験時（規制実施時間帯）の断面歩行者数

<平日>



注) 17時台～19時台における各細街路と四条通との北側交差断面での集計値

<休日>



注) 12時台～19時台における各細街路と四条通との北側交差断面での集計値

- 高倉通，東洞院通，御幸町通における歩行者数の時刻帯推移を見ると，平常と比べて平日・休日ともに，規制実施前の時間帯から実施中にかけて増加していることが分かる。

図 細街路における断面歩行者数の時刻帯推移

<平日>

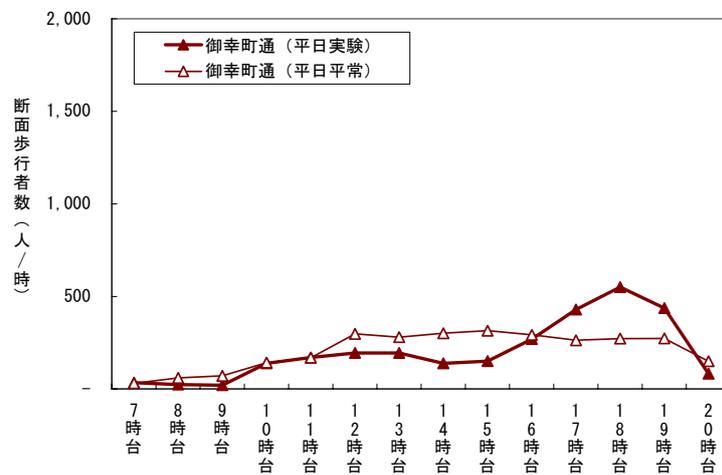
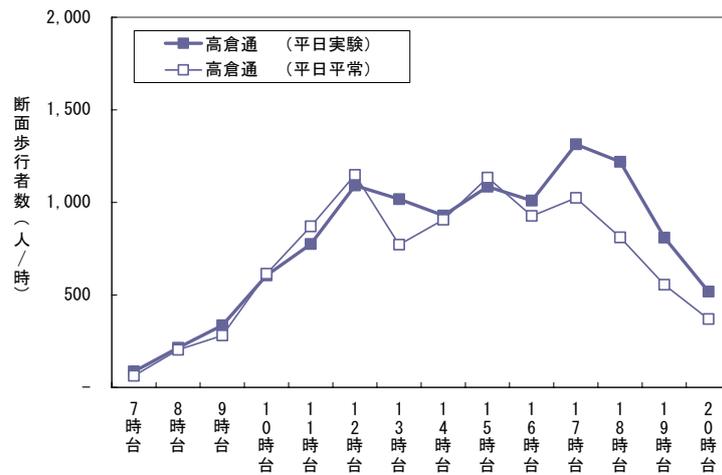
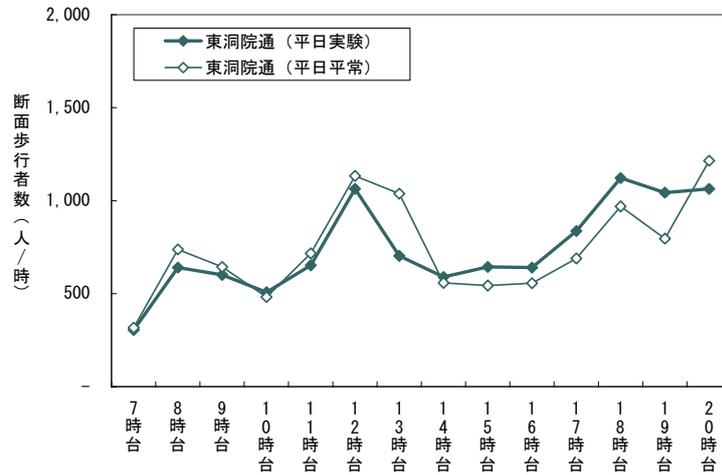
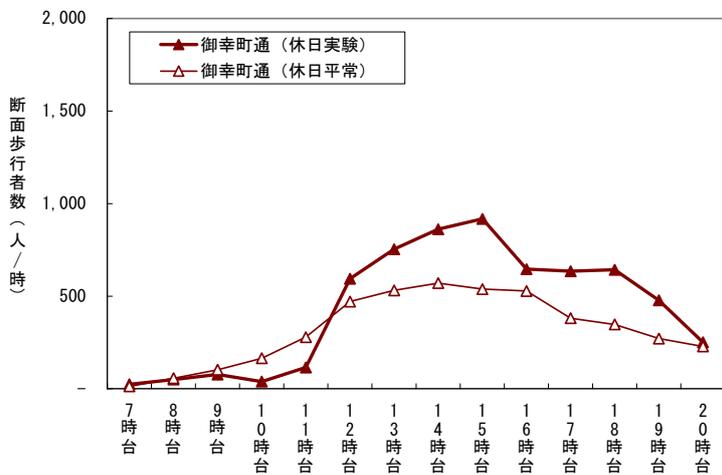
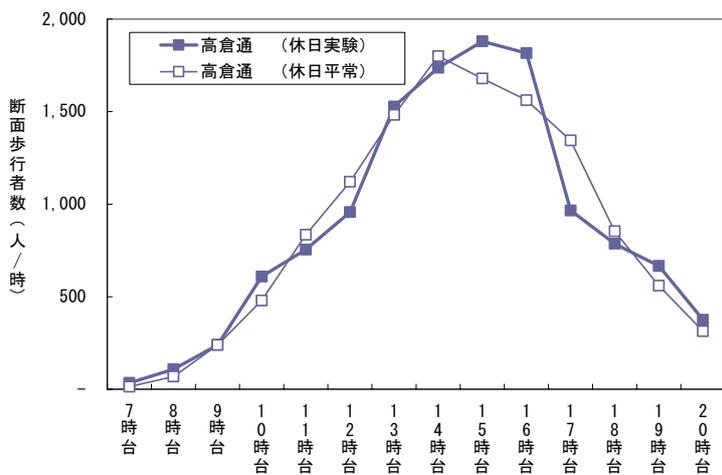
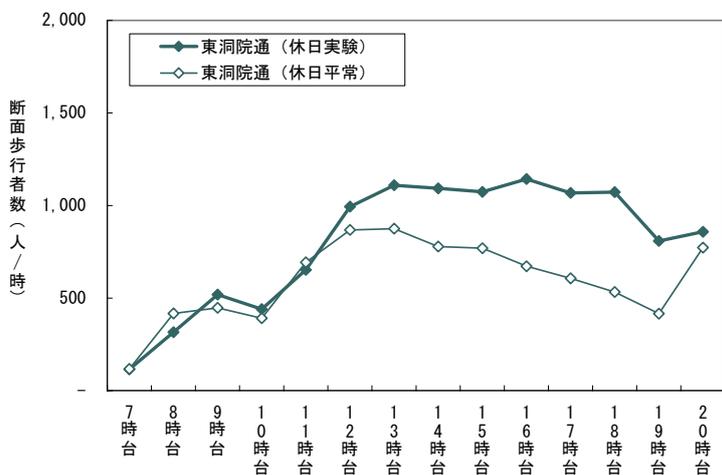


図 細街路における断面歩行者数の時刻帯推移

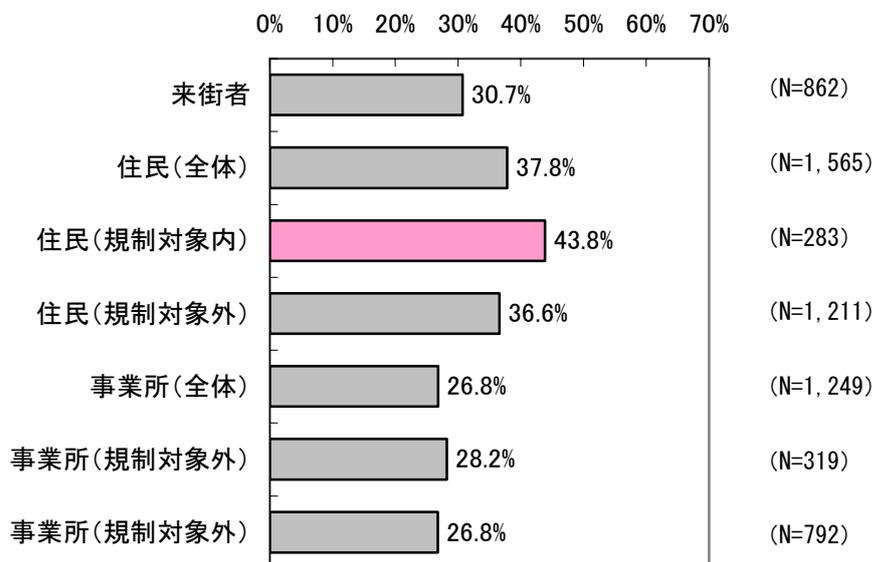
<休日>



## 4. 社会実験時のまちの印象・変化

- 通過交通の抑制による「細街路の歩きやすさの向上」については、特に住民が高く評価している。

図 「細街路を通る自動車が少なく、安全に歩きやすなった」と感じた意見

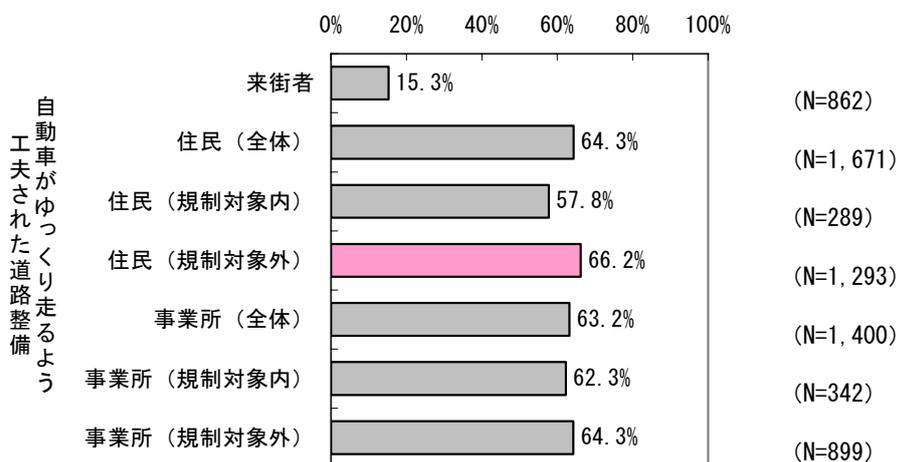
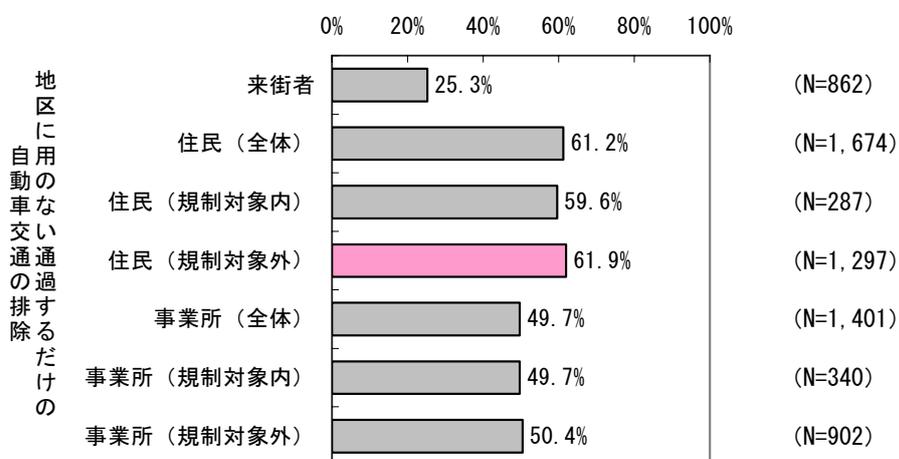
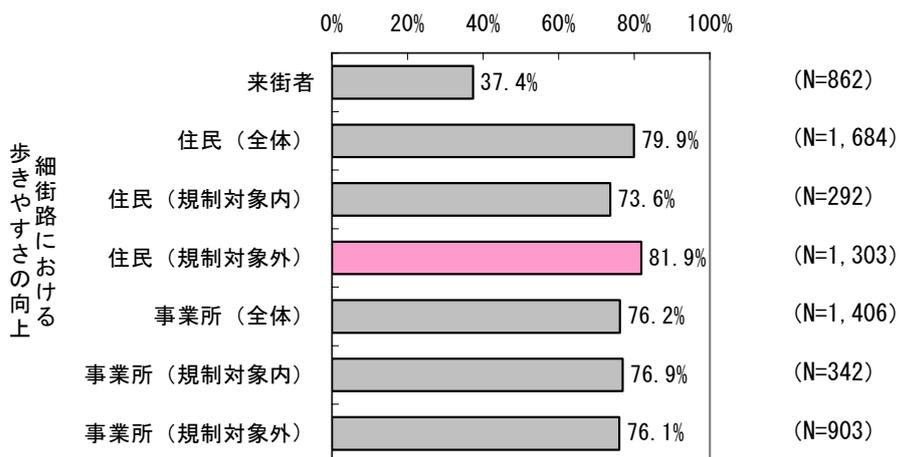


資料：来街者ヒアリング，住民アンケート，事業所アンケート調査 ※無回答を除く

## 5. 今後必要と考えられる対策

- 社会実験時の状況を踏まえ、歩行環境の改善に向けて今後必要と考えられる対策としては、放置自転車の解消や無電柱化等による「細街路における歩きやすさの向上」が最も多い。
- 住民と事業所においては、地区全体での速度規制や路面舗装の工夫等による「自動車の速度抑制」や「通過交通の排除」を望む意見も多い。

図 歩行環境の改善に向けて、今後必要と考えられる対策



資料：来街者ヒアリング，住民アンケート，事業所アンケート調査 ※無回答を除く